

リネーブルの利用を希望される方へ

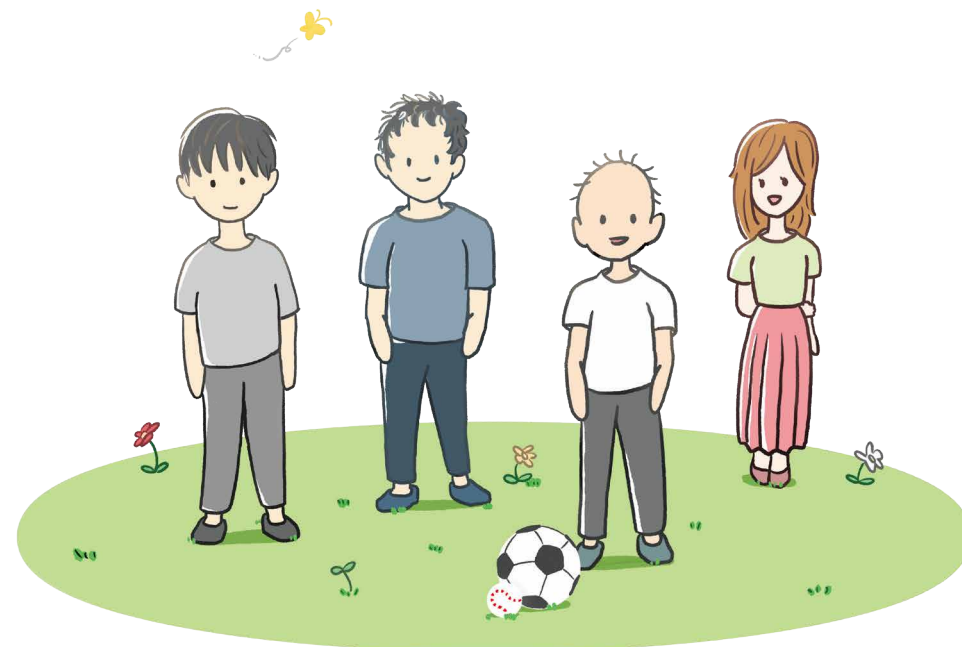
対象：18歳～概ね35歳までの若者で
安城市まで通える方
(リネーブルへ直接お問い合わせください)

リネーブル・サポーターのご案内

リネーブルは今の自分にちょうど良い働き方を模索する若者と共に、多様な働き方を目指すコミュニティです。「自分らしく働く」ことのできる場を自ら創り、社会的課題解決に向け取り組んでいます。

社会課題解決に向けた取り組みに共感いただくとともに、様々なコラボレーションを通じて、より大きな社会的インパクトを生むプロジェクトに発展できるよう、業務委託・コラボ企画・ご寄付などご協力をお願いいたします。

リネーブルお問い合わせフォーム
アクセスお待ちしております



企業・支援団体と連携し無業若者を IT育成コミュニティにつなげる事業

－ 実施報告書 －

実施期間：令和5年4月～令和5年3月

特定非営利活動法人リネーブル・若者セーフティネット

〒446-0072 愛知県安城市住吉町荒曾根 1-245 アワーズビル2F
TEL/FAX：0566-93-1733（月曜～金曜 10:00～17:00）
MAIL：info@linable.or.jp | Web：https://linable.or.jp/



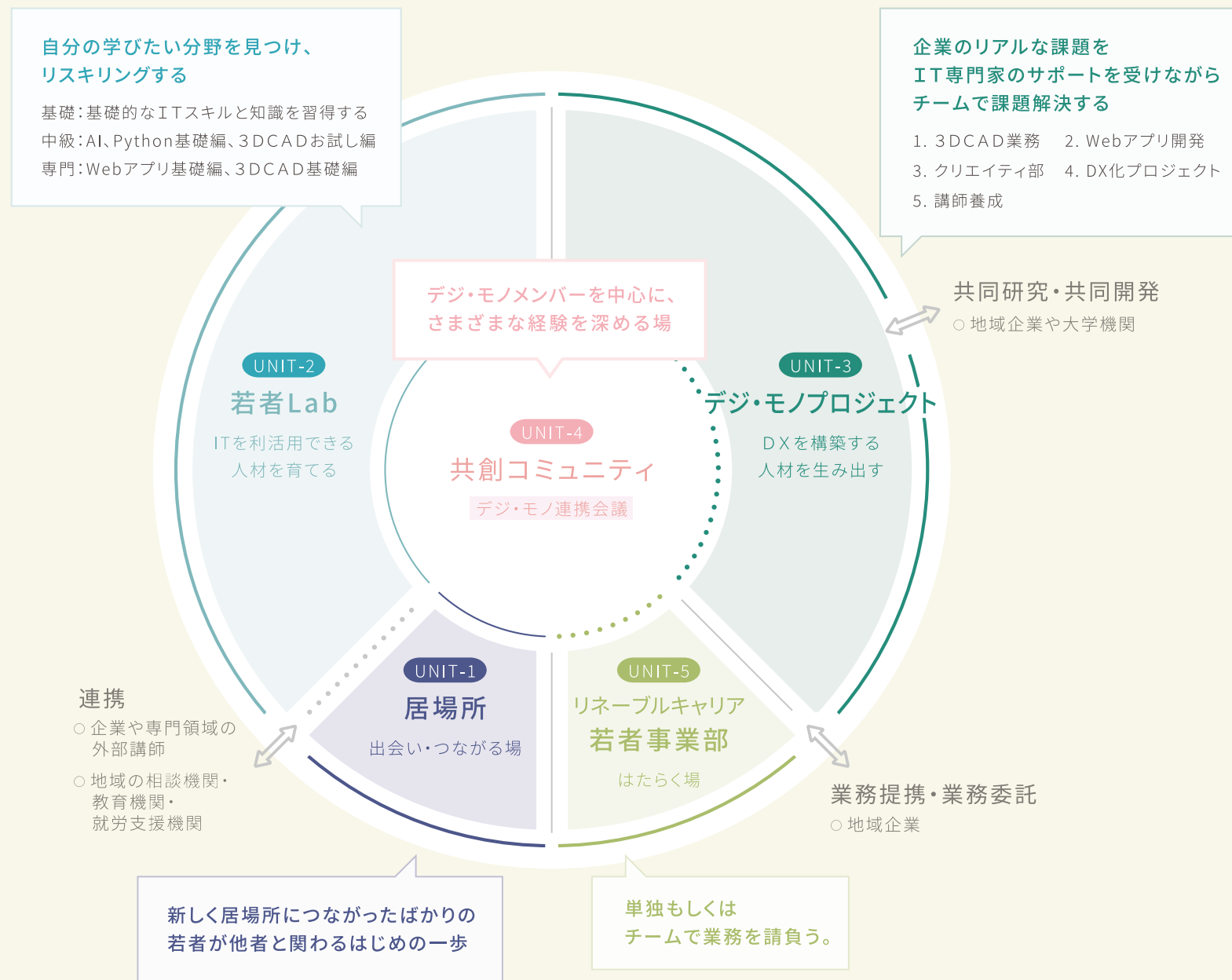
LINABLE
NPO法人リネーブル



LINABLE
NPO法人リネーブル

令和5年度 独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業

連携を活かした
ひとり一人の力を引き出す5つのユニット



リネーブルの活動

今の自分に ちょうど良い 働き方を探す

地域相談機関
就労支援機関

多業種
専門家

地域企業
大学機関

居場所 オンライン居場所

- ・体操教室
- ・AIで遊ぼう
- ・ボードゲームで遊ぼう
- ・ブロックでロボットを作ろう
- ・社会人に聞いてみよう
- ・1on1居場所

イベント参加

- ・スポーツチャレンジ
- ・安城市デンパーク 駅伝

ご相談 / 面談

- ・無業若者
- ・ご家族
- ・支援機関
- ・教育機関 / 行政

若者 Lab

- ・パソコンの基礎1on1勉強会
- ・3DCAD 基礎編
- ・Webアプリ勉強会
- ・バナー制作
- ・プログラミング(Python)勉強会

共創コミュニティ

- ・メッセナゴヤ2023 出展
- ・SDGsフェスタ in あんじょう出展

自分らしい働き方を見つける

- ・アルバイト
- ・若者事業部(業務委託)

仕事体験 インターンシップ事業

- ・企業開拓
- ・企業連携
- ・インターンシップ

デジ・モノプロジェクト

- ・3DCADチーム
- ・Webアプリ開発チーム
- ・クリエイティィ部
- ・パーソナルトレーニング
- ・講師養成



居場所 / オンライン居場所

居場所では、ボードゲームや多彩なワークショップを通じて学びとコミュニケーション能力を養います。体操教室やスポーツクラブでは心と体をすっきりさせ、働くための準備をしています。若者が自らイベントを企画・運営しています。

[2023年度 実施概要]

実施回数: 103回
のべ参加人数: 691人

■ 体操教室 / スポーツクラブ

普段あまり運動をしない人、スポーツが苦手な人でも、楽しく身体を動かして筋トレやストレッチ、ちょっとした運動ができるようプログラムしています。習ったことを自宅で思い出して少しずつ体力をつけていきます。もっと動きたい人は、スポーツクラブでウォーキングやマラソン、フットサルなどで汗を流します。



■ AIで遊ぼう

プログラミングができなくても、AIは使える！難しいことはなしにして、AIでシナリオを書いたりデジタルで絵を描いたり、音楽を作ったり。まずは触ってみる。



■ 中量級ボードゲームインストラクター勉強会

居場所でのボードゲームは欠かせない遊びです。リネープルに初めて参加する人やボドゲに不慣れな人向けに、体を動かすパーティーゲームや得意を活かせるゲームを提案して、緊張をほぐします。今年度はボードゲームインストラクター勉強会を開催し、ゲームのルール説明や楽しみ方を学びました。この経験を通じて、教える人も遊ぶ人もコミュニケーション力を高めながら楽しんでいます。



若者Lab(ラボ)

若者Labでは、ITを利活用できる人材を育てることを目指し、基礎的な学びから応用まで開講しています。一人ひとりの状況に合わせて学習することができます。1on1のPC基礎・Microsoft Office講座、Webアプリを学べるオンライン動画、少人数制の3DCAD基礎編を実施しました。

[2023年度 実施概要]

実施回数: 81回
のべ参加人数: 193人



《 参加者の声(継続中) 》

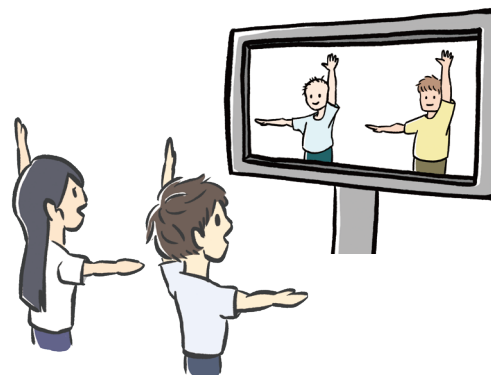
1対1なので質問しやすく、自分のペースで学べた。勉強したのは何年ぶりだろう…もっと学びたいと思った。

■ 新企画：オンライン居場所 | 1期4回 / 全3期開講 「家にいながらココロと身体をすっきり」

[2023年度 実施概要]

実施回数: 36回 (リハーサル含む)
のべ参加人数: 38人

居場所に参加をすることはできないけれど、オンラインなら参加してもらえるかも!と2023年度にオンライン居場所をスタートしました。プログラムは15分間の筋トレやストレッチ、季節を感じる音と共に行う呼吸法など、運動初心者取り組みやすい内容です。オンラインだと参加者の反応が見えにくい(カメラオフのため)ため、課題は残りますが、誰もが楽しめるイベントにするために2024年度も工夫を続けます。



《 アシスタント若者の声 》

自分がいないとオンライン居場所ができないので、遅刻しないようにがんばれました！責任感を持って動くことができました。次回もがんばりたい。



デジ・モノプロジェクト

デジ・モノプロジェクトは、デジタル技術を活用し、次世代のモノづくりに関わるスキルを身につけるための実践的な教育プログラムです。このプロジェクトは、地元企業や大学と連携し、リアルなビジネス課題の解決に取り組むことを目的に活動すると同時に、新しい働き方を創ります。

〔2023年度 実施概要〕

連携会議:93回
のべ参加人数:438人

3DCADチーム



● 企業を対象にした3DCAD導入研修の実施

企業の実務者を対象に導入研修の講師を担当しました。この研修では3DCADの基本的な操作とモデリング技術を教えます。3DCADに関する企業の困りごとをリアルに知る貴重な機会となり、自分たちの知識が十分企業研修として役立つことを知り、自信につながりました。



● 金型展での展示

3DCADチームは企業からの依頼に応じ、3Dプリンタで製作した作品を展示し、企業関係者に、金型製作時間を省略し、即座に試作を作るという3Dの可能性を示すことができました。若者たちは学んだ技術を実践に活かす経験を積むことができました。



< 金型展での展示作品 >

● 「あったらいいな」アイデアカタチに

家の中のちょっとした困りごとを3DCADを使いモデリングし、そのデザインを3Dプリンターでカタチにする。このプロセスを通して、創造的思考と問題解決能力が養われ、実務スキルを身につけることができました。



< コーヒー豆投入量の増量アタッチメント製作 >

Webアプリ開発チーム



● 市民共創知研究会(人工知能学会)での発表

Webアプリ開発チームは2023年2月、AIを用いてキャッチコピーを生成するWebアプリを開発しました。このプロジェクトはスクラム手法によって進められ、チーム全員でプログラムの開発から実装までを行いました。10月には人工知能学会の市民共創知研究会でプロジェクトを発表する機会をいただきました。専門知識を深める貴重な機会となったのはもちろん、外部の専門家からのフィードバックを受けることで、彼らの学びとモチベーションがさらに高まりました。

市民共創知研究会 第11回「みらいらば なごや 2023」 | 人工知能学会 第二種研究会
<https://sigcci.github.io/sigcci/conf11/index.html>



「キャッチコピー生成 bot」



市民共創知研究会発表の様子

働く一歩を踏み出そう！

デジ・モノプロジェクトの目指すところ

デジ・モノプロジェクトは、デジタルスキルを身に着けてDX人材となることを目指しています。このプロジェクトを通じて、若者はチームでリアルなビジネス課題を解決し、デジタルスキルを活用する経験を積むことで、自信を持って働く一歩を踏み出すことができます。彼らはスキルを活かして様々な働き方を選択することができます。例えば、LINABLEキャリア若者事業部で働く、個人で起業する(個人事業主)、地元企業での雇用などです。

デジ・モノプロジェクトは、若者たちが社会的に自立し、自らのキャリアパスを探る機会となり、自分の望む働き方の基盤を作ることが可能となります。新しい働き方を描くことにより、社会全体の働き方のイノベーションに寄与することを目指します。



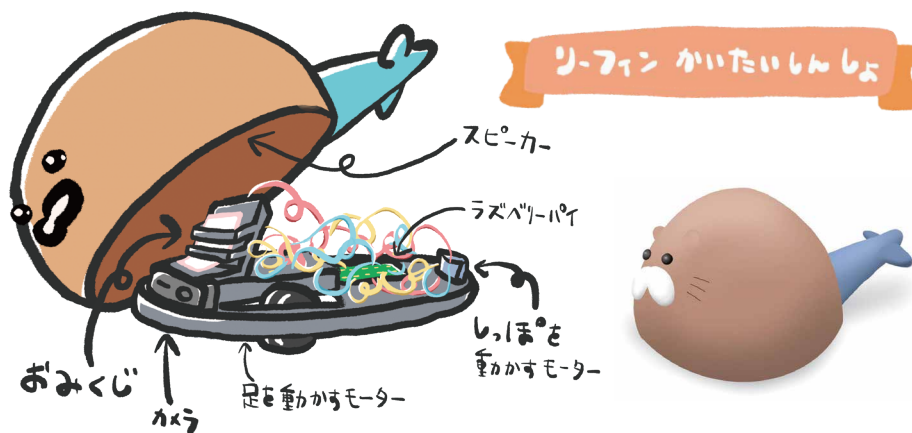
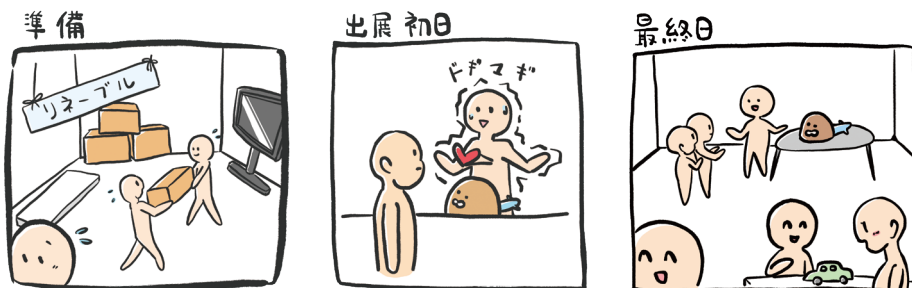
日本最大級の異業種交流会「メッセナゴヤ2023」出展！

3DCADチーム、Webアプリ開発チーム、クリエイティ部協働、動いて・おしゃべりできるAI搭載型ロボットを開発しました。リネーブルに遊びに来た人が、ほっこり優しい気持ちになれることを目指して制作しました。「メッセナゴヤ 2023」に出展し、活動内容の展示やロボットの実演を通して、リネーブルの活動をより多くの方に周知して頂くことができました。

異業種交流会 メッセナゴヤ 2023
開催日：2023年11月8日～10日
来場者数：52,876 名
リネーブルブース訪問者数：105人
<https://www.messenagoya.jp/>



メッセナゴヤの3日間



共創コミュニティ 若者座談会



ファシリテーター: 理事 堀 直予
WEBチーム: Sさん
3DCADチーム: Gさん・Szさん
クリエイティ部: Nさん
コラボメンバー: Mさん

■ トラブルをチャンスに

堀：まずはメッセナゴヤの出展を振り返っていかがでしたか。

お願いしたら「使っていいですよ」って言われて、マイクをお借りしました。

Sさん：Webチーム、3DCADチーム、クリエイティ部の共同でリアルなもののづくりができました。

Mさん：ドキドキしながら声をかけて。お借りしたマイクのおかげで音が聞こえるようになりました。

Gさん：大きなモニターの下が3DCADブースで、意外としてもらえました。嬉しかったですね。ラジコンモデルは原型からノギスで計って作りました。本来はカメラでぐるっとスキャンして15分でデータができますが、自分たちは一辺ずつ手で測ってやりました。

堀：トラブルもチャンスに変える。素晴らしい実践ですね。

Szさん：自分が勉強したことでお客さんからの質問に答えられました。「私でもできるんだ」と思えました。

Nさん：「呼び込みなんて自分にはできない」と思っていたけれど、練習だと思って頑張りました。(代表の)荒川さんがターゲットを一人に決めて声をかけていて「ああやってやればいいのか」って。人を選ぶし怖かったけれど、意外と反応がよかった。それが自信になって、展示やロボットの説明ができることまで慣れました。楽しかったです。

Nさん：リーフィンのデザインを描きました。平面的な絵でしかなかったものを、みんなが形にしてくれて感無量です。内側の仕組みに興味を持ってくれる人もいれば、外側のキャラクターに興味を持ってくれる人もいて、いろんな反応がありました。楽しかったです。

堀：みんなで臨機応変に対応した。常にコミュニケーションを取りながらやっていたんだよね。印象に残ったことはありますか。

Mさん：僕はNさんとのコラボで、どこのチームにも所属していなかったのが、メンバーの間に入って話を聞いていました。最終日まで体力が続いてよかったです。

Mさん：AIや3DCADという「キーワード」でまず足を止めてもらえる。逆に「目で見て止まってくれる」のがリーフィン。モニターでは動画を1本ずつ流して行って、実演では後ろの人が見やすいようにモニターにリーフィンを映して、そのタイミングで見られる人が多かったかな。

堀：想定外だったことはありましたか？

Szさん：会場がざわざわしていてリーフィンの声が聞こえなくて。別の出展ブースからマイクを借りきて乗り切りました。

Nさん：最終日にリーフィンを大きなモニターに映していたら、女性が足を止めて「かわいい」って言ってブースに入ってきてくれました。商業的な場所で、自分のイラストは人に刺さりにくいと思っていた。でも、本当に好きな人には見てもらえた。最後まで粘って呼び込んでよかったです。

Mさん：フリーの時間に会場を回っていたらスピーカーマイクを紹介しているブースがありました。

▶ 若者座談会の続きは公式サイトへ！

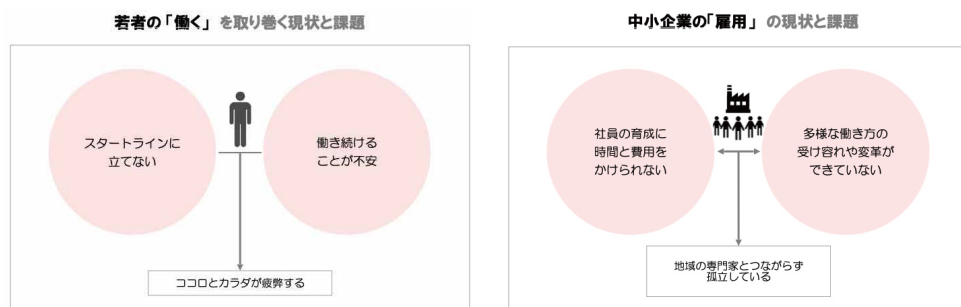




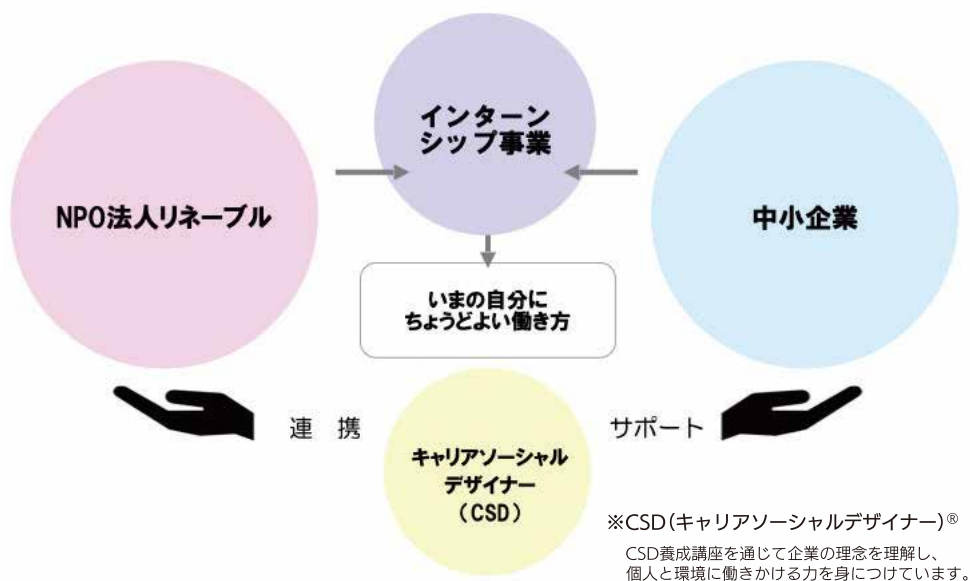
仕事体験 / インターンシップ事業

■ 若者と中小企業を取り巻く現状

若者の「働く」現状と中小企業の「雇用」には多くの課題があります。特に不登校から教育機関を離れたり、早期離職を繰り返す若者は、自分に合った職を見つけることが難しく、無業の期間が長引くことがあります。また、仕事を始めても働き続けることへの不安や不満から心身の疲労が増し、職を離れることが少なくありません。一方中小企業は、社員の育成や多様な働き方への適応が追い付かない状況にあります。若者と中小企業の双方が抱える課題への対応が必要になります。



■ リネーブルのサポート体制

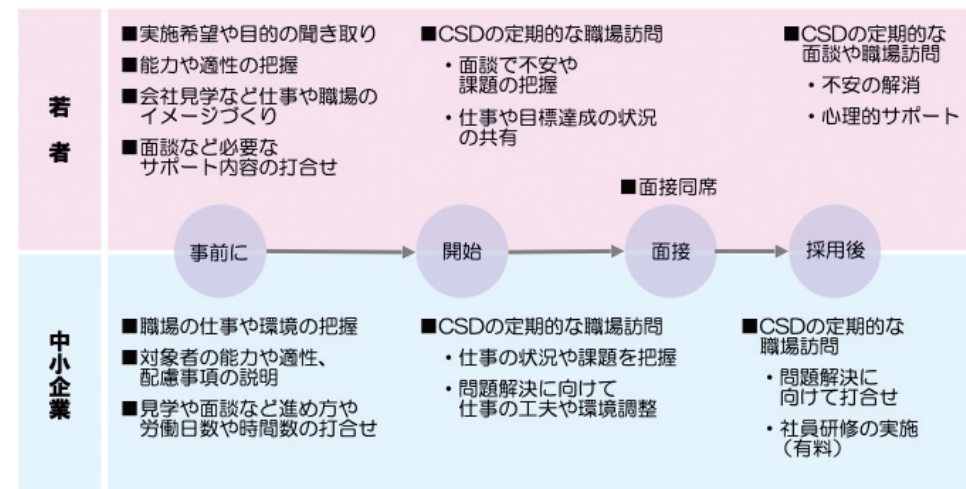


■ リネーブルのインターンシップ事業

LINABLE

だからできる ていねいなプロセス

LINABLEのインターンシップ事業
2つの特徴
①仕事と環境、勤務日数や時間数など
ていねいなマッチング
②採用後のフォローアップ

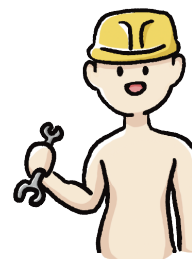


リネーブルのインターンシップは、働くことに迷いのある若者が、今の自分にちょうど良い働き方・多様な働き方を実践し、自信を持って職場で活躍できるよう支援することを目的としています。このプログラムでは、障害の有無に関わらず、働くことに不安を感じる若者の望む働き方を明確にし、若者を雇用したい企業につなげ、働く体験をします。1日8時間、週5日働くことにこだわらない柔軟な働き方ができるよう双方の環境調整をしていきます。働き続けることに自信を失った若者が、ここでなら働けそうと自信を持ち少しずつステップアップできるようにサポートします。

インターンシップ体験

〔製造業〕

1回2時間 / 週2日 / 6回



▶ 就職後6か月：1回4時間 / 週3日勤務で継続中

インターンシップは私には大きな背伸びのように感じました。「6回終わってからやめよう」と自分に言い聞かせてスタートしました。暑い中、社員の皆様から「ゆっくりでいいよ」と励まされ、自分のペースで仕事に慣れることができました。全6回終えた後には「ここで働いている自分」をイメージすることができました。今はアルバイトとして働き、日々小さな挑戦を続けており、仕事をしている実感の中にいます。大きな背伸びをしてみた甲斐がありました。

スタッフの声



今年は、体操教室やボードゲーム、AIでの遊びなど多彩なワークショップを開催し、のべ1,155人の参加があり、体力やコミュニケーション力がついて参加率が向上しており、参加者の成長を肌で感じています。

新たにオンライン居場所やスポーツチャレンジを導入し、運営の難しさもありつつ、参加者の楽しみとスタッフの成長の機会となりました。さらに大きな挑戦として、活動の成果報告の場として「メッセナゴヤ 2023」や「SDGsフェスタ in あんじょう」に出展しました。挑戦を成し遂げた若者たちは自信が醸成され、チーム力が上がったように感じます。スタッフとして若者の成長を喜びつつ、スタッフも共に成長していきたいと思います。

最後になりましたが、WAM助成により様々な取り組みができたこと感謝いたします。

2023年度は「情報発信」の年になりました

2023年度 WAM 助成を受け、ITに特化した学びの場とココロと身体を元気にする多様な場を創出することができたこと深く感謝申し上げます。

リネーブルにつながった若者は、様々な生きづらさを抱えながらも、彼らなりのペースでプロジェクトに取り組んでいます。この1年を通して自分たちの得意なことや興味を持っていることを情報発信し、学びながら仲間と共に小さな挑戦を繰り返すことができました。中にはゆっくり進む者もいれば途中つまづく者もあります。お互いを支え合いながら、ある時「グン!!」と成長していることに気づかれます。

リネーブルは今の自分にちょうど良い働き方見つけ、チームでチャレンジできるコミュニティです。挑戦する彼らのお手伝いを、これからも続けていきたいと思っています。

代表理事 荒川陽子

2024年度の展開「外にとびだせ！」

2023年度は地元企業、行政、一般市民への情報発信を強化しました。2024年度は「外にとびだせ！」をスローガンに、ワークショップや企業との協働を通じて、若者が自らの働き方に向き合い、社会に積極的に関わる機会を増やします。

1. 市民講座の開催

3DCADチームは小学生を対象にした「真空成型機でスイーツの型を作ろう」、Webアプリ開発チームは大人を対象にした「100均グッズでつくるスマートハウス」といったテーマで、市民を対象にした講座を実施します。これらの講座はデジ・モノメンバーが学んだことをチームで他者に教えることを通して、コミュニケーションスキルや、業務遂行能力を含めた働くスキルを身に付けていきます。

2. メンターシップな居場所の提供

居場所では、少し高度なデジタル技術を学んだ若者（メンター）が、リネーブルの居場所に参加する若者（メンティー）に、様々な学びの機会を提供します。このプログラムはITスキルに限定せず、学ぶ面白さや教えることを通して双方が自信をつけること、人とつながりながらコミュニケーションスキルを身に付けるなど、様々な効果があります。メンターである若者がDXの専門家から学び、初心者向けのプログラムを開発します。学びの好循環を生み出す居場所を目指します。

リネーブルは既存の働き方に縛られず、自分らしい働き方を見つけるための居場所です。若者たちが自分のペースでキャリアを形成し、自信を持って働く一歩を踏み出せる場を創っていきます。

